



# 日本聖書神学校 学 報

Japan Biblical Theological Seminary

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16・☎03-3951-1101～2・Email: jbts@jbts.ac.jp

2023年4月10日

第172号

発行人 神保 望

【後援会献金口座】

郵便振替:

00110-3-6435

加入者名:

学校法人聖経学園

日本聖書神学校



【巻頭言】

## 国家とのシンクレティズム

校長 神保 望

### 今号の内容

巻頭言	1
第75回卒業生	2
2023年度新入生	2
教職員の異動	2
西中国教区の旅	3
学事報告・個人消息	4

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が開始され一年が経過しました。ロシア軍による破壊行為は、西側諸国から軍事支援を受け反撃に転じたウクライナに対して激しさを増しており、双方に多くの死傷者が出ています。ウクライナ側からすると、死の恐怖と出口の見えない不安との闘いが長期化し心身に疲弊していますし、国際社会においてはロシアを支持する勢力とウクライナ側につく西側諸国との間に新たな分断線が生じたため、両陣営が睨み合う形で敵意と憎悪が増えています。他方、戦禍によって苦しむ人々に対して無関心を装う人々の割合が徐々に高くなっていることも看過出来ない問題です。東西冷戦終結後、世界は最大の危機に直面しているのです。

ロシアによる軍事侵攻には、キリスト教会の関与があったことは否めない事実です。ウクライナ正教会はロシア・ベラルーシと共に一つの教会を形成していましたが、ロシア正教会の承認を得ることなく2018年に独立を宣言しています。その結果、プーチン大統領の盟友と伝えられるロシア正教会のキリル総主教は、ウクライナ正教会に対して強い憤りを感じつつ、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を祝福しました。教会の代表者が戦争という破壊行為に対して公に祝福したとすれば、それは戦争行為に対する全面的な支持を表明したことになります。これは戦地の兵士たちが今すぐにも武器を捨てる代わりに、ロシアとウクライナ両正教会が主権国家体制を相互に尊重し合いつつ共生の道を模索する意味で平和の実現のための対話を試みるべき時に、ロシア正教会総主教がロシアによる軍事侵攻を祝福したとすれば、キリストの平和を福音として宣べ伝えてきたキリスト教の意義そのものを根幹から揺るがしかねない一大事であると言えます。

正教会成立の紀元4世紀、コンスタンティヌス大帝がローマからビザンティウム(後のコンスタンティノポリス)に本拠地を移すと、ローマ帝国は対立する二つの首都を持ちました。爾来ローマ教会とビザンティン教会は、独自の道を辿っています。そして1054年に破門し合い大分裂が

生じると、ローマでは「カトリック」、ビザンティンでは「正教会」と自称し今日に至っています。カトリック・正教会共に、成立時から国家と深い関係にあったのです。

教会史家として知られるカエサレアのエウセビオスは、コンスタンティヌス大帝の統一政策を受け入れ、国家と教会の統合の仕組みを構築しましたが、「一神教と王政は手を取り合い、互いを前提にしている」と教会と国家の親密な関係を示唆しました。皇帝を教会の首長とする正教会の伝統はロシア革命(1917年)によって終了しますが、ロマノフ朝滅亡後も国家とのシンクレティズムは続いていると言えます。シンクレティズムの本来の意味は宗教的「混淆」ですが、殊に正教会成立とその後の歴史に注目しますと、キリスト教と国家が組み合わされていたことが分かります。ですから初期の正教会では、国家と教会の目指す所が多く点で一致していたことから宣教活動にも国策の影響が見られます。具体的にはロシア内陸部への植民地主義的な拡張と関係しており、国家と組み合わせられた教会の働きは「ロシア化」の意味を持つのです。そこでプーチン大統領が主張する「ウクライナはロシアの一部」とは、政治的プロパガンダとしてだけではなく国家とのシンクレティズムによる正教会独自の見解でもあるようです。しかしキリスト教における祝福とは、政治体制や宗教観の違いに基づく人間社会の判断によるものとは一線を画します。軍事侵攻に対するロシア正教会総主教による祝福の動機が国益と一致しているとすれば、「義と平和こそ来るべきメシアの祝福である」と聖書が証言する神の祝福とは異質なものであると言わざるを得ません。

「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」(マタイ5:43～44) 一国の利益のために戦争に勝利することが神の祝福かと言えば、決してそうではありません。互いに武器を捨て敵を愛し平和の実現を祈り願うことこそ、神の祝福によって生かされるキリスト者本来のあり方です。

# 2022年度 第75回卒業生

①卒業論文 ②卒業時の所属教会 ③実習教会 ④赴任教会



小川和孝 おがわ かずたか

- ①「ヤイロの娘と長血の女性の物語」(マルコ 5:21-43) 釈義—物語と自身の経験と 共同体との共有と語りかけ—
- ②日本基督教団信濃町教会
- ③日本基督教団信濃町教会
- ④日本基督教団上山教会 主任



横内純 よこうち じゅん

- ①使徒パウロにおける使徒性と恵み
- ②日本基督教団目白教会
- ③日本基督教団目白教会
- ④日本基督教団高田教会 主任・新井教会 代務



小田哲郎 おだ てつろう

- ①現代の構造的暴力に対してパウロは何を語るか：＜新しい視点＞による罪と救いについての一考察
- ②日本基督教団浦和東教会
- ③日本基督教団浦和東教会
- ④日本基督教団南三鷹教会 担任



饒平名丈 よへな たけし

- ①ユルゲン・モルトマンの終末論について—実践的終末論についての一考察
- ②カンパーランド長老キリスト教会泉伝道教会
- ③カンパーランド長老キリスト教会高座教会
- ④カンパーランド長老キリスト教会泉伝道教会 代務者



海東強 かいとう たけし

- ①「依存症者ロイ・アッセンハイマー神父による”神の宣教”」の考察
- ②日本キリスト教会稲田堤伝道所
- ③日本キリスト教会稲田堤伝道所
- ④日本キリスト教会佐賀めぐみ教会



加太典子 かぶと のりこ

- ①ヤハウエストの考える人間の罪（特に原初史）についての一考察
- ②日本基督教団蒔田教会
- ③日本基督教団蒔田教会
- ④日本基督教団野比教会 主任



湊理恵 みなと りえ

- ①物語批評で見るマルコによる福音書の女性たち—大祭司の中庭の女中の働き—
- ②日本基督教団祖師谷教会
- ③日本基督教団祖師谷教会
- ④日本基督教団野辺地教会 主任

## 2023年度 新入生一覧

### 【正科生】

- |          |              |
|----------|--------------|
| 1. 大場 望  | 日本基督教団新庄教会   |
| 2. 酒巻百合恵 | 日本基督教団深沢教会   |
| 3. 瀬尾真結  | 日本基督教団厚木上教会  |
| 4. 宋 度榮  | 日本基督教団信濃町教会  |
| 5. 田口則彰  | 日本基督教団越谷教会   |
| 6. 中山慶介  | 日本キリスト教会柏木教会 |

### 【聴講生】

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1. 五十嵐直美  | 日本ホーリネス教団由木キリスト教会 |
| 2. 大島泰江   | 日本基督教団千葉教会        |
| 3. 喜田川ルツ子 | 日本ナザレン教団横浜教会      |
| 4. 齋藤健一郎  | 日本基督教団愛泉教会        |
| 5. ニルソン冬子 | 日本聖公会インマヌエル新生教会   |
| 6. 野本 純   | 日本基督教団蒔田教会        |
| 7. 松脇達朗   | 日本キリスト教会蒲田御園教会    |
| 8. 丸山 仁   | 日本聖公会目白聖公会        |
| 9. 山田篤子   | 日本基督教団田浦教会        |

## 教職員の異動

### 就 任

#### 《教 員》

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 荒瀬牧彦（教務部長代行） | 2023年4月1日 |
| 大久保正禎（講師）    | 2023年4月1日 |
| 朱 海燕（講師）     | 2023年4月1日 |

### 退 任

#### 《教 員》

- |              |            |
|--------------|------------|
| 柳下明子（教務部長）   | 2023年3月31日 |
| ゾントーク・ミラ（講師） | 2023年3月31日 |

# 日本キリスト教団西中国教区の旅

3年 大森意索

旅人の神学と言うのを聞いたことがあります、当たり前前の環境から外に出ることで、問われるということがあ  
るのだと思います。20年前（聴講はそれ以前から）に一度正科生となったものの、2年間で挫折を経験した私は、いろいろな経験したのち、昨年から再び正科生となりました。その間もある意味では遠回りな旅であったのかもしれませんが、この間、時代もずいぶん変わったように思います。スマホなどが当たり前前の時代となり私も含め、教会の高齢化も進行しました。今回、30年勤めた職場を退職する機会を利用して、西中国教区を訪問する機会を与えられました。前回の挫折を経験した私は、信徒として教会と関わる重要性を痛感し、卒業後も牧師としてではなく信徒伝道者として、地方の教会とどのように繋がっていくか模索する中で与えられた機会でした。

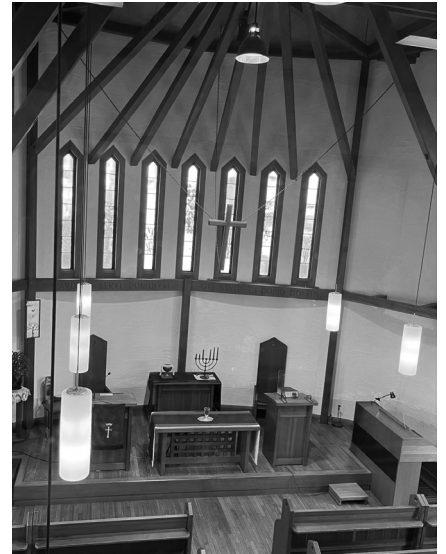
西中国教区の小畑先生を紹介いただき、メールだけでなく、あらかじめZoomで相談しながら伺うことができたのは、人見知りの私にとっては、顔見知りというのは大きかったように思います。宇部緑橋教会を訪れたのは2月26日、受難節第一主日礼拝の時でした。小さな私の挑戦が始まりました。信徒伝道者として、それぞれの教会とつながっていきけるか。何が必要とされ、どう歩めば

良いのか。何か大きなことをするということではなく、自分の見えるところから、聞こえるところから、始めること、そして、そのことで自分がどのように変わっていくのか、見ていくこと。

地方の教会の現状を私はある程度理解しておりましたが、それでも私のような口下手で、人前で話すことが苦手な者が、突然教会を訪れることに、どのような反応が示されるかドキドキしていました。教団の日々の聖書日課により、ルカ4章1-13節のいわゆる「悪魔の誘惑」の箇所でしたが、ギリギリまで、奨励の題を「荒野での問い」にするか「荒野での問いーディアボロスと共に」にするかで悩みました。前日には、週報と礼拝の動画を見させていただき、黙想。結局、内容については素直に、「実はまだよくわかりません」と語りました。後で聞いたところでは、それが良かったという意見から、やはり聖書解釈はどうか？というご意見まで、いろいろと伺うことができました。『問い』についてはまだこれから私自身が問われ続けていくということでしょう。

さて、小畑牧師は長生炭鉱問題の会の事務局だけでなく、上原原発の問題、岩国教科書裁判、さらに地元の問題などさまざまな事柄に関わっておられ、それだけを聞くと、とても激しい方かと思うのですが、とても温厚で、そしてしっかりと現場におられる方なのでした。多忙で、週のうちの多くがそれらのために時間を割かれていたので、素朴に「こんなに忙しくて、説教を考える暇もないのでは？」と、私自身が話すまでにとっても時間がかかるので尋ねたのですが、答えは、「現場があるから、問いがあるから、説教ができるのだ」との言葉にとっても感激しました。

暖かい受け入れと、時と場を与えられたことに感謝しながら、3週間後に再び、宇部に向かう予定です。2回目



の訪問は小畑先生に隠岐教会の大野牧師と広島南部教会の後藤牧師を紹介いただき、宇部教会、隠岐教会、広島南部教会を訪問する予定です。西中国教区の現状を知り、これから私自身がどのように信徒伝道を行なっていけばよいのかについての思いを深めたいと考えています。もともと宣教師であった父親の戦時中のその困難と痛みを共有しながら、パウロがそうであったように仕事を持ちながら、これからの旅を続けたいと思います。問いかけ続けられながら。

西中国教区訪問日程は以下の通り  
( )は宿泊

- 1回目：(2/25-2/26)
- 2/25 小畑牧師と打ち合わせ (宇部)
- 2/26 宇部緑橋教会にて奨励 教会の会合に参加
- 2回目：(3/18-3/25) 予定
- 3/18 小畑牧師と打ち合わせ (宇部)
- 3/19 宇部教会にて奨励 西山牧師との懇談 (宇部)
- 3/20 松江に移動 (松江)
- 3/21 松江にて総会に出席後隠岐移動 (隠岐)
- 3/22 隠岐教会見学 松江に移動 (松江)
- 3/23 広島に移動 広島南部教会にて奨励 (広島)
- 3/24 広島社会館等の見学 (広島)
- 3/25 岡山へ移動
- 3/26 単立岡山御津キリスト教会にて奨励 (岡山) 東京へ



## Diary 学事報告

### 2022年9月～2023年3月

- 9月6日 同窓会常任役員会
- 9月9日 教授会(第5回)
- 9月9日 後期始業礼拝
- 9月9日 夏期伝道実習報告会
- 9月10日 学報(170号)発行
- 9月10日 後援会通信(73号)
- 9月13日 カリキュラム対話集会
- 9月26日 理事会(第277回)
- 10月3日 図書館運用委員会
- 10月4日 オープンキャンパス
- 10月7日 教授会(第6回)
- 10月9日 神学校日
- 10月25日 後援会役員会
- 10月28～29日 全校修養会(神学校)、テーマ「よりよい牧会・宣教を学ぶために一自分の偏見を知る」、主題講演 神保 望校長
- 10月31日 理事会(278回)
- 10月31日『聖書と神学』(第33号)発行

- 11月4日 秋期入学試験(合格者:正科生4名)
- 11月4日 教授会(第7回)
- 11月7～11日 授業体験週間
- 11月7日 同窓会常任役員会
- 11月14日 ワークショップ「星をつくろう」
- 11月21日 理事会(第279・280回)
- 11月21日 評議員会(第222回)
- 12月8日 学生自治会ホームルーム
- 12月9日 教授会(第8回)
- 12月9日 クリスマス礼拝(説教「使命に生きる」高橋真人牧師(会津坂下教会牧師、東北教区総会議長))
- 12月9日 後期補講日
- 12月15日 学報(171号)発行
- 1月6日 新年始業礼拝
- 1月18, 24日 後期補講日
- 1月26日 フィールドスタディ報告会
- 1月27日 教授会(第9回)
- 1月27日 卒業論文講評会日
- 1月30日 理事会(第281回)

- 1月30日 卒業論文発表会
- 1月31日 同窓会全国支部長会議
- 2月6日 後援会役員会
- 2月6日 献身志願者の集い準備会
- 2月13日 教授会面談(2年生)
- 2月14日 同窓会役員と卒業予定者との懇談会
- 2月15日 学生自治会学術講演会(講師:岸川洋司先生)
- 2月16～17日 春期入学試験(合格者:正科生2名、聴講生9名)
- 2月17日 教授会(第10回)
- 2月20日 理事会(第282回)
- 2月27日 学生自治会総会・卒業生を送る会
- 3月6日 教授会(第11回)
- 3月6日 卒業礼拝(説教「荒野の宣教」八木原敬一牧師(会津高田教会・山都教会牧師・47期))、卒業生7名
- 3月6日 同窓会常任役員会
- 3月13日 新入生オリエンテーション
- 3月17日 臨時教授会
- 3月20日 理事会(第283回)

## 個人消息

### ■ 神保 望 校長

- 9月18日 和泉教会・牧師就任式に出席(祝辞)
- 9月20日 東京教区・常置委員会に出席(年複数教会)
- 9月27日・28日・29日 第42回日本基督教団総会に出席
- 10月8日 日本実践神学会に出席
- 10月9日 代々木教会礼拝堂献堂90周年記念演奏会に出席
- 10月23日 宿河原教会・牧師就任式に出席(祝辞)
- 10月24日～25日 同窓会・東北支部会で講演
- 11月2日 メーヤー宣教師墓前礼拝に出席
- 11月16日 田淵諭退職記念展訪問
- 11月20日 にじのいえ信愛荘礼拝で説教(年複数教会)
- 11月27日 高田教会・新井教会合同礼拝で説教
- 12月15日 聖契神学校訪問
- 12月16日 東京教区総会議事録精査委員会に出席
- 1月16日「性暴力訴訟」二次被害に対する謝罪と今後の対応について(声明文)公表
- 1月22日 経堂緑岡教会礼拝で説教
- 1月29日 越生教会・牧師就任式に出席(祝辞)
- 1月31日 同窓会・全国支部長会議に出席
- 2月26日 和泉教会礼拝で説教
- 3月11日 学生寮・4年生を送る会に出席
- 3月12日 八王子栄光教会・牧師就任式に出席(祝辞)
- 3月13日 NCC 教育部・エキュメニズム研修会に出席
- 3月19日 埼玉新生教会77周年記念礼拝で説教
- 3月19日 厚木上教会・主任担任教師就任式に出席(祝辞)
- 3月23日 日本基督教団・宣教研究所委員会に出席
- 3月26日 カンバーランド長老キリスト教会・伝道師任職式に出席(祝辞)
- 寮監としての業務を行い、また校長として理事会、評議員会、教授会、校務会、人事委員会、図書館運用委員会、後援会役員会、献身志願者準備委員会、同窓会常任役員会に出席
- その他適宜面接・人事相談・学生面接を担当して教務執行

### ■ 荒瀬 牧彦 教授

- 10月8日 第2回日本実践神学会

- 11月19日 日本賛美歌学会大会発表
- 1月29日 カンバーランド長老教会(CPC)めぐみ教会礼拝説教
- 2月19日 熱田教会礼拝説教・愛知西地区教会音楽研修会「牧師も奏楽者も会衆も礼拝を大切にする賛美歌の学び」
- 2月20-22日 沖縄宣教研究所・富坂キリスト教センター第5回共同研修
- 3月1日『礼拝と音楽』編集委員会
- 3月4日 社会福祉法人ナオミの会評議員会、東中野教会礼拝研究会「プロテスタント礼拝の今そしてこれから」
- 3月15・16日 日本クリスチャン・アカデミー神学生交流プログラム講演
- 3月18日 池袋朝禱会奨励
- CPC 田園教会教会牧師としての執務。その他、CPC 教職委員長・アジア宣教委員・礼拝書委員、日本聖書神学校理事・評議員・キリスト教研究所所長、日本賛美歌学会運営委員、御茶ノ水スタンディング呼びかけ人として活動
- 『礼拝と音楽』196号「言葉が響き合う時間を求めて」座談会司会、『コロナ後の教会の可能性 危機下で問う教会・礼拝・宣教』編(キリスト新聞社)

### ■ 小林 祥人 教授

- 10月18日 同窓会九州・中国・沖縄支部会研修会にて発題(オンライン)
- 11月7日 同窓会東京支部会研修会にて発題
- 11月26日 日本基督教団関東教区秋季按手礼式に参列
- 2月27日 同窓会東北支部会研修会にて発題
- 同窓会役員としての執務執行
- 日本基督教団取手伝道所牧師としての執務執行

### ■ 菅原 裕治 教授

- 9月1日 東京教区執事按手式出席(推薦者)
- 10月19日 東京教区10月教役者レクイエム説教担当
- 図書館長、評議員としての執務執行
- 日本聖公会管区共通聖職試験委員会委員長を継続(2022年度春期試験、秋期試験を監修)
- 日本聖公会東京教区聖職試験委員会委員長を継続(2022年度執事試験を監修)
- 東京聖三一教会牧師としての執務執行

### ■ 古谷 正仁 教授

- 9月8日 青山学院横浜英和同窓会(丘光会)聖書研究会講師

- 9月20日 JBTS 同窓会神奈川支部研修会出席
- 9月26日 日本基督教団常議員会陪席
- 9月27日～29日 日本基督教団総会出席
- 9月30日 神奈川教区婦人集会出席
- 10月3日 キリスト教教育学会文書委員会(論文審査)
- 10月7日 東京地裁にて裁判傍聴
- 10月8日 日本実践神学会出席
- 10月9日 在日大韓基督教会川崎教会献堂式にてスピーチ
- 10月13日 青山学院横浜英和同窓会(丘光会)聖書研究会講師
- 10月15日 神奈川教区宣教部主催「教区の宣教を語る会」出席
- 10月23日 宿河原教会石田幸子伝道師就任式司式
- 11月5日 神奈川教区宣教方策会議出席
- 11月10日 青山学院横浜英和同窓会(丘光会)聖書研究会講師
- 11月21日 キリスト教教育学会文書委員会(論文審査)
- 12月5日～6日 日本基督教団常議員会陪席
- 12月23日 東京地裁にて裁判傍聴、記者会見
- 1月12日 青山学院横浜英和同窓会(丘光会)聖書研究会講師
- 2月9日 青山学院横浜英和同窓会(丘光会)聖書研究会講師
- 1月21日 日本水上学園理事会
- 2月25日 神奈川教区総会
- 3月11日 日本水上学園理事会
- 3月19日 厚木上教会佐藤貴仁伝道師就任式司式
- 3月25日 横浜英和学院評議員会、元住吉こばと幼稚園理事会
- 3月27日 日本基督教団臨時常議員会
- 日本基督教団時田教会牧師としての教務遂行
- 神奈川教区総会議長としての教務遂行
- 社会福祉法人日本水上学園理事、学校法人敬愛学園元住吉こばと幼稚園理事、学校法人横浜英和学院評議員としての業務遂行

### ■ 柳下 明子 教授/教務部長

- 11月8日 東京女子大学チャペルメッセージ
- 12月12日 日本YMCA 同盟職員クリスマス礼拝にてメッセージ
- 12月14日 女子学院高等学校チャペルメッセージ
- 教務部長、理事、評議員としての執務執行
- 日本基督教団番町教会主任担任教師としての執務執行